

学位（修士）申請手続

* 修士課程の学位申請については、5月以降に学生課より2年生あてに通知します。

また、本学ホームページ上にも掲載します。

申請様式については、ホームページからダウンロードしてください。

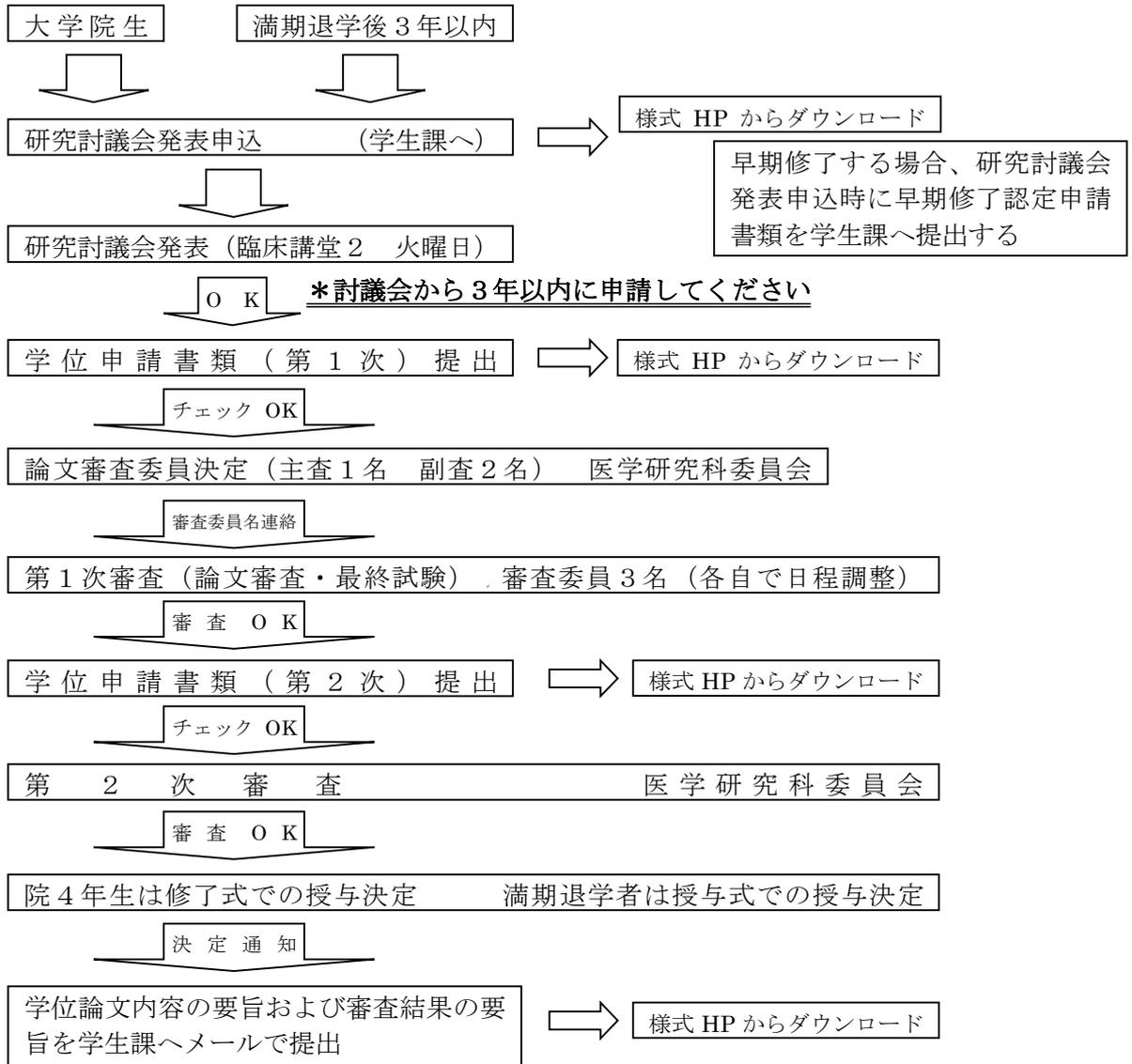
7月には、履修ガイダンスとして学位申請手続の説明会を実施予定です。

学位論文審査基準

- 1 幅広い医学の基礎知識と最先端の医学研究に裏付けられていること。
- 2 問題設定に対してふさわしい研究方法を実践し、論理的かつ実証的に結論を導いていること。
- 3 得られた結果と残された課題について考察できていること。
- 4 公開審査会における口頭発表が論理的にわかりやすく構成されていること。
- 5 学位申請論文が研究領域における学術的意義、新規性、創造性があると認められること。
- 6 研究倫理を遵守していること。

学位（博士）申請手続

大学院コース（甲）申請の流れ



本学 HP からダウンロード (ホーム > 学部・大学院等 > 大学院 医学研究科)

研究討議会書類関係



学位申請書類関係



研究討議会の予約

- * 討議会は3月を除く毎月火曜日に開催（教授会、行事等のない日）。
- * 発表する場合は、討議会日程表に氏名・所属を記載し予約してください。

研究討議会申込書類

書 類	部 数
1 研究発表申込書	1 部
2 履 歴 書	1 部
3 研究討議会記録（討議委員名簿）	1 部
4 研究結果要旨（2,000字程度）印刷したもの	150 部
5 付 函	討議委員+1 部

上記書類を3週間前までに学生課に提出 下線の書類のみ様式あり

- * 討議委員数：座長を含め5人以上
- * 座 長：大学院医学研究科の教授
- * 討議委員（座長を除く）：大学院医学研究科の教員（講師以上）
必要に応じて大学院医学研究科教員以外の者を加えることができる。

学位申請書類（大学院コース 甲）

1 次 審 査 提 出 書 類	部 数
1 学位申請書	1 部
2 履 歴 書	57 部
3 論文目録	57 部
4 学位論文（*公表済みのもの）	57 部
5 学位論文内容の要旨	57 部
6 参考論文（公表済みのもの）	各編5部
7 学位論文の掲載証明（公表していない場合）	57 部
8 同意書（共著論文の場合 申請者が第一著者である場合のみ申請可能）	57 部
9 研究題目変更届（研究討議会の研究題目から変更した場合）	57 部

7～9は該当する場合のみ必要 下線の書類のみ様式あり

- * 注意事項
- ① 提出期限は、医学研究科委員会の11日前まで（学生課へ）
- ② 論文目録・同意書・研究題目変更届の学位論文題名等の誤字脱字チェック
- ③ 学位論文の公表済みには on line publish を含む
- ④ 掲載証明は、メールによるアクセプト証明可
- ⑤ 研究討議会から3年以内に申請しないと再度研究討議会が必要

1次審査（論文審査委員による論文審査・最終試験）

- * 学位申請後、医学研究会委員会において論文審査委員（主査1名・副査2名）が選出されます。学生課より申請者に通知しますので、申請者自身が審査委員と日程調整し審査および試験を受けてください。
その結果により2次審査の申請をしてください。

学位申請書類（大学院コース 甲）

2 次 審 査 提 出 書 類		部 数
1	学位論文審査の要旨	57部
2	試験の結果の要旨	57部
3	論文目録	57部

*注意事項

- ① 提出期限は、医学研究科委員会の11日前まで（学生課へ）
- ② 論文目録は、1次審査提出書類時と同じもので可

2次審査（医学研究科委員会での審査）

*論文審査委員より審査内容等について説明が行われ、質疑後無記名による投票が行われます。出席者の3分の2以上の賛成により学位授与が決定されます。

公表関係

*学位授与から3か月以内に「学位論文内容の要旨および審査結果の要旨」を公表しなければならないことになっています（学位規定）。本学では、3か月単位でホームページ上に公表しています。

学位授与が決定した申請者は、「学位論文内容の要旨および審査結果の要旨」を学生課あてに電子媒体（メール可）で提出してください。（様式はHPにあります）

併せて、学位論文の全文をPDF形式で提出してください。

上記の詳細は、学位授与決定通知によりお知らせします。

学位授与式

*院生は、修了式において学位記が授与されます（単位確認後）。

満期退学者は、学位授与承認月以降の奇数月に授与式が開催されます。

学位論文審査基準

- 1 専門分野における高度な専門性と学識に裏付けられていること。
- 2 問題設定に対してふさわしい研究方法を実践し、論理的かつ実証的に結論を導いていること。
- 3 得られた結果と課題について考察でき、自分の研究課題の今後の発展について明確な展望を持っていること。
- 4 論文が論理的でわかりやすく構成されていること。
- 5 学位申請論文が専門分野における学術的意義、新規性、創造性があり、国際的な評価に耐えられる水準に達していること。
- 6 研究倫理について十分に理解して、それを遵守していること。